

横浜市長
林 文子様

カジノ・IRに関する業務の進行停止を求める意見書

2020年3月17日

3月6日より、「横浜IRの方向性(素案)」のパブリックコメントが実施されています。さらに、実施方針(案)の骨子も明らかにされました。私たちは、このことに大変驚いています。ご存知の通り、青葉区におけるIR説明会の開催は延期となり再開の目処も立っていません。

IR事業を巡っては、国においても大幅なスケジュールの遅れが生じ、未だ基本方針の策定・公表に至っていません。確かに昨年秋に公表された基本方針案には、「基本方針が公表される前から進められている手続の取扱い」の規定はあります。しかし、現下の世界的な新型コロナウイルス対策が求められるような状況を予見していたわけではないと思います。

情勢は大きく変化しています。新型コロナウイルスの感染拡大予防対策として、イベント自粛や一斉休校要請、入国制限と、様々な対策が打ち出される中で、経済活動は停滞し、市内経済にも大きな影響を及ぼしています。また、医療や福祉現場では緊張の高まる中、衛生用品の確保にも苦慮する悲痛な声があがっています。

今や、東京2020オリンピック競技大会の開催さえも危ぶまれるような事態となっており、自治体のみならず、日本政府として、また、世界各国が新型コロナウイルス対策を進めている今、世論を大きく二分するカジノ・IR誘致事業を変わらず推進する市長の姿勢は異様にさえ映ります。

もとより、市長も感染拡大防止に向け、最大限の努力を行うと宣言されているところであり、新型コロナウイルスの感染拡大が一定の終息を得るまで、カジノ・IRに関する業務の進行を一時停止し、市民の安心を守るためウイルス対策に全力を注いでください。上記意見についての、回答を求めます。

神奈川ネットワーク運動・青葉
代表 霜山恵子 青木マキ

連絡先
横浜市青葉区市が尾町 1151-1
ライオンズマンション市が尾第 2-203
メールアドレス net-aoba@nifty.com